

YMアセット・ オーストラリア 好配当資産ファンド

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/資産複合
信託期間	2017年9月15日から、2022年9月20日までです。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ) オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) の受益証券 ロ) ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用) の受益証券
運用方法	①主として、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) の受益証券を通じて、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資することにより、信託財産の成長をめざします。 なお、リアルアセット関連有価証券とは、以下の有価証券をいいます。 イ) リート ロ) 上場インフラファンド ハ) リアルアセットを保有または運営する企業の株式 ※1 「リアルアセット」とは、使用料や賃料等のキャッシュフローを生み出すインフラ関連施設や不動産等の実物資産をさします。 ※2 ニュージーランドのリアルアセット関連有価証券にも投資することがあります。 ②オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) では、配当の成長性および継続性、利益成長性、収益基盤の安定性等に着目し投資を行ないます。 ③オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) では、原則として、為替リスクを回避するための為替ヘッジを行ないません。 ④この投資信託は、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) とダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用) に投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) への投資割合を高位に維持することを基本とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) などとし、原則として、継続した分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

運用報告書 (全体版)

第12期 (決算日 2020年9月23日)

第13期 (決算日 2020年12月21日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「YMアセット・オーストラリア好配当資産ファンド 愛称：トリプル維新 (リアルオージー)」は、このたび、第13期の決算を行ないました。

ここに、第12期、第13期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



Yamaguchi
Financial Group

ワイエムアセットマネジメント

山口県下関市竹崎町四丁目2番36号

お問い合わせ先 083-223-7124

(営業日の9:00~17:00)

ホームページ <http://www.ymam.co.jp/>

最近10期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)		S & PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率		
	円	円	%		%		%	%	百万円
第4期末(2018年9月20日)	9,751	60	2.6	10,290	1.8	10,725	6.6	99.0	3,712
第5期末(2018年12月20日)	9,517	60	△ 1.8	9,376	△ 8.9	10,472	△ 2.4	99.0	3,574
第6期末(2019年3月20日)	10,256	60	8.4	10,292	9.8	11,468	9.5	99.0	3,238
第7期末(2019年6月20日)	10,521	60	3.2	10,386	0.9	11,576	0.9	99.0	2,516
第8期末(2019年9月20日)	10,431	60	△ 0.3	10,601	2.1	11,440	△ 1.2	99.0	2,198
第9期末(2019年12月20日)	10,645	60	2.6	11,162	5.3	11,626	1.6	99.0	2,121
第10期末(2020年3月23日)	6,476	60	△38.6	6,793	△39.1	6,648	△42.8	98.9	1,251
第11期末(2020年6月22日)	9,035	60	40.4	9,545	40.5	9,395	41.3	99.0	1,799
第12期末(2020年9月23日)	9,632	60	7.3	10,018	5.0	10,316	9.8	99.0	1,938
第13期末(2020年12月21日)	10,878	60	13.6	11,820	18.0	11,838	14.7	99.0	2,122

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース) は S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに、S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、円換算ベース) は S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとにワイエムアセットマネジメントが円換算し、当ファンド設定日を10,000として計算したものです。S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) および S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。

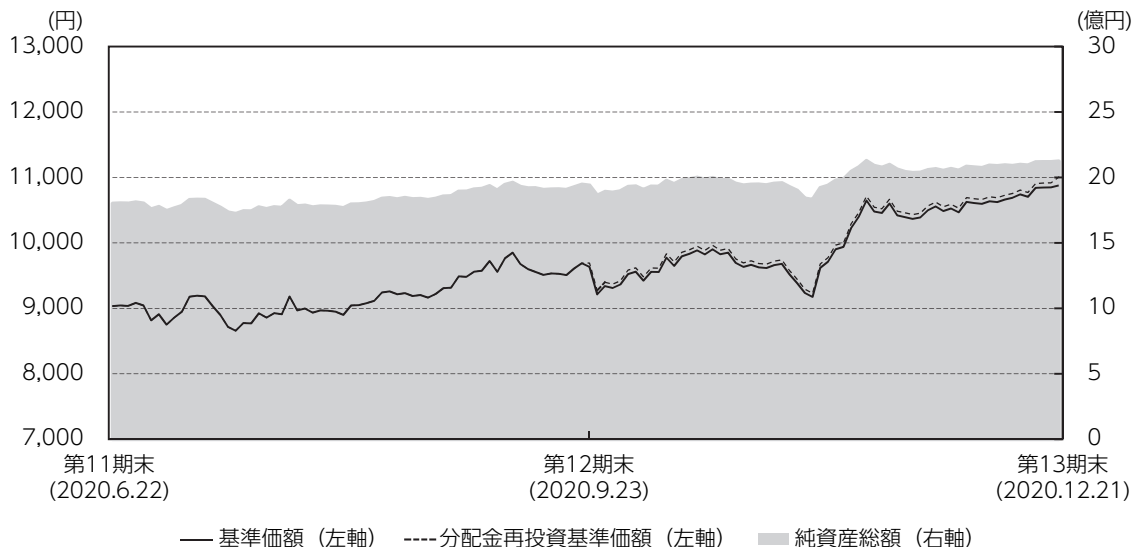
当作成期中の基準価額と市況の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)		S&PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	
第12期	(期 首) 2020年 6 月22日	9,035	—	9,545	—	9,395	—	99.0
	6 月末	8,909	△ 1.4	9,546	0.0	9,228	△ 1.8	99.0
	7 月末	8,967	△ 0.8	9,966	4.4	9,408	0.1	99.0
	8 月末	9,560	5.8	10,479	9.8	10,122	7.7	99.0
	(期 末) 2020年 9 月23日	9,692	7.3	10,018	5.0	10,316	9.8	99.0
第13期	(期 首) 2020年 9 月23日	9,632	—	10,018	—	10,316	—	99.0
	9 月末	9,524	△ 1.1	9,868	△ 1.5	10,131	△ 1.8	99.1
	10月末	9,384	△ 2.6	9,914	△ 1.0	9,898	△ 4.1	99.0
	11月末	10,487	8.9	11,316	13.0	11,399	10.5	99.0
	(期 末) 2020年12月21日	10,938	13.6	11,820	18.0	11,838	14.7	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

運用経過

基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第12期首：9,035円

第13期末：10,878円 (既払分配金120円)

騰落率：21.8% (分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因

基準価額は上昇しました。オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄が上昇したことがプラスに働きました。オーストラリアでの新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着きつつある中、ワクチン開発への期待感や中央銀行による金融緩和政策への期待感などから、当ファンドの主要投資対象であるリートやインフラ関連銘柄は上昇しました。また、鉄鉱石価格の上昇や中国の景気改善への期待感などから投資家のリスク選好が高まり、オーストラリア・ドルが対円で上昇（円安）したこともプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

投資環境について

○オーストラリア・リアルアセット（※）市況

当作成期首から7月にかけては、米国や中南米などで新型コロナウイルスの感染拡大が続いたことやオーストラリア国内でも新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向となったことなどから、経済活動再開の遅れが懸念され、上値の重い展開となりました。8月から10月前半にかけては、オーストラリアでの感染拡大が落ち着いた状態だったことやオーストラリアの長期金利が下落傾向となったこと、また財政刺激策への期待感やRBA（オーストラリア準備銀行）による追加緩和観測などから、上昇しました。10月後半は、欧州での感染拡大、広範な行動規制の再開などから世界経済停滞の懸念が広がり、下落しました。その後当作成期末にかけては、米国大統領選挙が大きな波乱なく終了したことや、米国大手製薬会社が新型コロナウイルスのワクチン開発において良好な治験結果を得られたと発表したことなどからリートやインフラ関連銘柄は上昇しました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

○為替市況

当作成期首から8月にかけては、鉄鉱石価格の上昇や中国の景気改善への期待感などから、オーストラリア・ドルへの選好が強まり、対円で上昇しました。9月から10月にかけては、欧州での新型コロナウイルスの感染拡大への懸念や米国大統領選挙を前にしたリスク調整の動きなどから、対円で下落（円高）しました。その後当作成期末にかけては、新型コロナウイルスのワクチン開発において良好な治験結果が得られたことなどから、投資家のリスク選好が強まり、オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）とダイワ・マネーポートフォリオ（FOF s用）（適格機関投資家専用）に投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通して、オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）の受益証券を高位に組み入れました。

○オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）

傘下に上場リートや非上場の不動産ファンドを持つ大手複合リーートのCHARTER HALL GROUP（不動産）、オーストラリアだけでなく、世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、ガス産出地と主要都市を結ぶガスパイプラインなどを運営するAPA GROUP（公益事業）、水力や地熱発電などの再生可能エネルギーに強みがあるニュージーランドの大手発電企業CONTACT ENERGY（公益事業）などを高位に組み入れました。

○ダイワ・マネーポートフォリオ（FOF s用）（適格機関投資家専用）

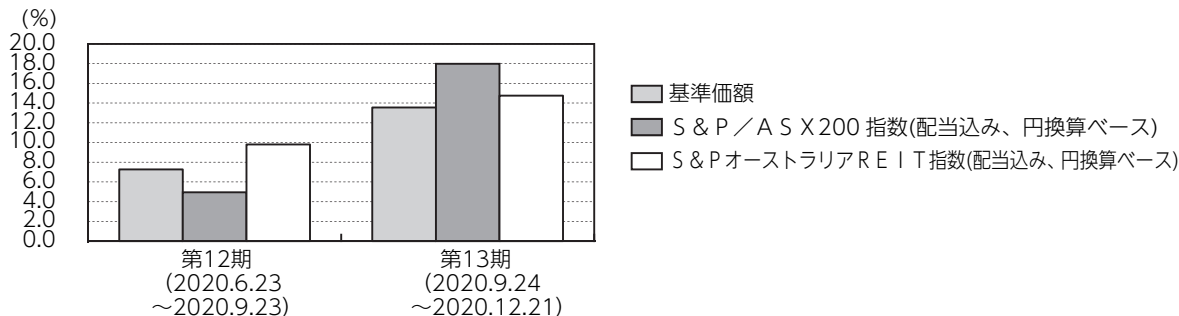
流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（S & P / A S X 200指数（配当込み、円換算ベース）およびS & PオーストラリアREIT指数（配当込み、円換算ベース））との騰落率の対比です。

参考指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。



(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

分配金について

1万口当り分配金（税込み）は第12期は60円、第13期は60円といたしました。収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第12期	第13期
	2020年6月23日 ~2020年9月23日	2020年9月24日 ~2020年12月21日
当期分配金（税込み）（円）	60	60
対基準価額比率（%）	0.62	0.55
当期の収益（円）	60	60
当期の収益以外（円）	-	-
翌期繰越分配対象額（円）	910	1,206

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第12期	第13期
(a) 経費控除後の配当等収益	66.46円	97.55円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	256.50
(c) 収益調整金	148.85	181.35
(d) 分配準備積立金	755.55	731.13
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	970.86	1,266.53
(f) 分配金	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	910.86	1,206.53

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

○当ファンド

オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

○オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

○ダイワ・マネーポートフォリオ（FOF s用）（適格機関投資家専用）

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行なう方針です。そのため、マイナス利回りの短期の国債やコール・ローン等にも投資することがあります。

1 万口当りの費用の明細

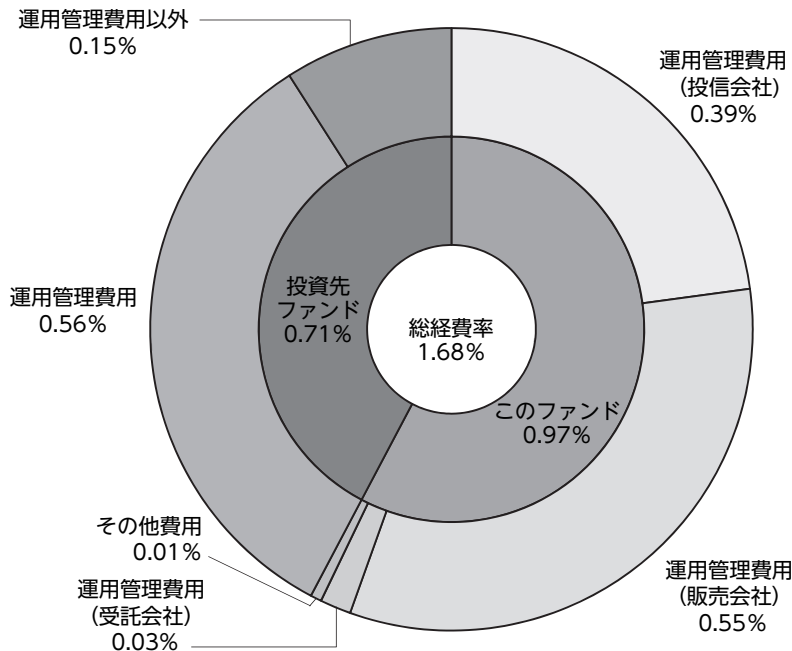
項 目	第12期～第13期		項 目 の 概 要
	(2020年6月23日～2020年12月21日)		
	金 額	比 率	
信託報酬	46円	0.479%	信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）×各期の日数／年間の日数 期中の平均基準価額は9,624円です。
（投信会社）	(18)	(0.192)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(26)	(0.274)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(1)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝各期中の売買委託手数料／各期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝各期中の有価証券取引税／各期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.005	その他費用＝各期中のその他費用／各期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
合 計	47	0.485	

- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注3) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

参考情報

■総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.68%です。



総経費率 (①+②+③)	1.68%
①このファンドの費用の比率	0.97%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.56%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年6月23日から2020年12月21日まで)

決算期		第12期～第13期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国	千口	千円	千口	千円	
	オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)	132,813.914	126,000	175,072.628	170,000
内	ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)	-	-	-	-

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
国内投資信託受益証券

銘柄	第13期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)	1,962,164.803	2,101,086	
ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)	1,103.11	1,096	
合計	金額 1,963,267.913 銘柄数 < 比率 > 2銘柄	2,102,182	< 99.0% >

(注1) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年12月21日現在

項目	第13期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	2,102,182	98.2
コール・ローン等、その他	39,174	1.8
投資信託財産総額	2,141,357	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年9月23日)、(2020年12月21日)現在

項目	第12期末	第13期末
(A) 資産	1,955,527,630円	2,141,357,617円
コール・ローン等	26,402,983	25,174,724
投資信託受益証券(評価額)	1,920,124,647	2,102,182,893
未収入金	9,000,000	14,000,000
(B) 負債	16,775,901	18,846,537
未払収益分配金	12,076,724	11,707,333
未払解約金	157,738	2,391,716
未払信託報酬	4,490,163	4,693,886
その他未払費用	51,276	53,602
(C) 純資産総額(A-B)	1,938,751,729	2,122,511,080
元本	2,012,787,486	1,951,222,215
次期繰越損益金	△ 74,035,757	171,288,865
(D) 受益権総口数	2,012,787,486口	1,951,222,215口
1万口当り基準価額(C/D)	9,632円	10,878円

(注) 元本状況

期首元本額	1,992,064,950円	2,012,787,486円
追加設定元本額	70,487,882円	82,293,655円
一部解約元本額	49,765,346円	143,858,926円

■損益の状況

第12期 自2020年6月23日 至2020年9月23日

第13期 自2020年9月24日 至2020年12月21日

項目	第12期	第13期
(A) 配当等収益	13,846,849円	19,391,984円
受取配当金	13,850,021	19,395,341
受取利息	5	40
支払利息	△ 3,177	△ 3,397
(B) 有価証券売買損益	120,517,711	236,728,910
売買益	121,706,834	245,316,870
売買損	△ 1,189,123	△ 8,587,960
(C) 信託報酬等	△ 4,541,439	△ 4,747,488
(D) 当期損益金(A+B+C)	129,823,121	251,373,406
(E) 前期繰越損益金	△ 160,355,884	△ 39,631,977
(F) 追加信託差損益金	△ 31,426,270	△ 28,745,231
(配当等相当額)	(29,960,398)	(35,385,996)
(売買損益相当額)	(△ 61,386,668)	(△ 64,131,227)
(G) 合計(D+E+F)	△ 61,959,033	182,996,198
(H) 収益分配金	△ 12,076,724	△ 11,707,333
次期繰越損益金(G+H)	△ 74,035,757	171,288,865
追加信託差損益金	△ 31,426,270	△ 28,745,231
(配当等相当額)	(29,960,398)	(35,385,996)
(売買損益相当額)	(△ 61,386,668)	(△ 64,131,227)
分配準備積立金	153,377,327	200,034,096
繰越損益金	△ 195,986,814	-

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 12 期	第 13 期
(a) 経費控除後の配当等収益	13,378,627円	19,032,599円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	50,049,385円
(c) 収益調整金	29,960,398円	35,385,996円
(d) 分配準備積立金	152,075,424円	142,659,445円
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	195,414,449円	247,127,425円
(f) 1万口当り当期分配対象額	970.86円	1,266.53円
(g) 分配金	12,076,724円	11,707,333円
(h) 1万口当り分配金	60円	60円

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 12 期	第 13 期
1万口当り分配金（税引前）	60円	60円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

お知らせ

○該当事項はありません。

オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)

運用報告書 (全体版)

第12期 (決算日 2020年8月17日)

第13期 (決算日 2020年11月16日)

(作成対象期間 2020年5月16日~2020年11月16日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/資産複合	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの受益証券
	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	イ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場または店頭登録の投資信託証券 ロ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。） ハ. オーストラリアおよびニュージーランドの企業のDR
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、配当等収益等を全額分配し、売買益等は基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S&P/A S X 200指数 (配当込み、円換算)		S&PオーストラリアREIT 指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率				
	円	円	%		%		%	%	%	%	百万円
4期末 (2018年 8月15日)	9,665	100	1.8	10,495	0.7	10,654	4.3	18.6	-	78.0	3,813
5期末 (2018年11月15日)	9,655	120	1.1	9,989	△ 4.8	10,679	0.2	18.7	-	79.0	3,540
6期末 (2019年 2月15日)	9,895	90	3.4	10,060	0.7	11,252	5.4	19.7	-	78.0	3,554
7期末 (2019年 5月15日)	10,119	230	4.6	10,181	1.2	11,276	0.2	22.0	-	76.3	2,524
8期末 (2019年 8月15日)	10,212	160	2.5	10,237	0.6	11,645	3.3	21.6	-	74.6	2,116
9期末 (2019年11月15日)	10,277	160	2.2	10,924	6.7	11,910	2.3	19.8	-	77.5	2,079
10期末 (2020年 2月17日)	10,893	140	7.4	11,583	6.0	12,808	7.5	18.9	-	79.5	2,116
11期末 (2020年 5月15日)	7,541	90	△29.9	8,258	△28.7	8,010	△37.5	21.0	-	77.4	1,493
12期末 (2020年 8月17日)	9,023	70	20.6	10,494	27.1	10,158	26.8	18.0	-	80.3	1,804
13期末 (2020年11月16日)	10,223	100	14.4	11,054	5.3	11,555	13.8	19.9	-	79.3	2,044

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算) は、S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、円換算) は、S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

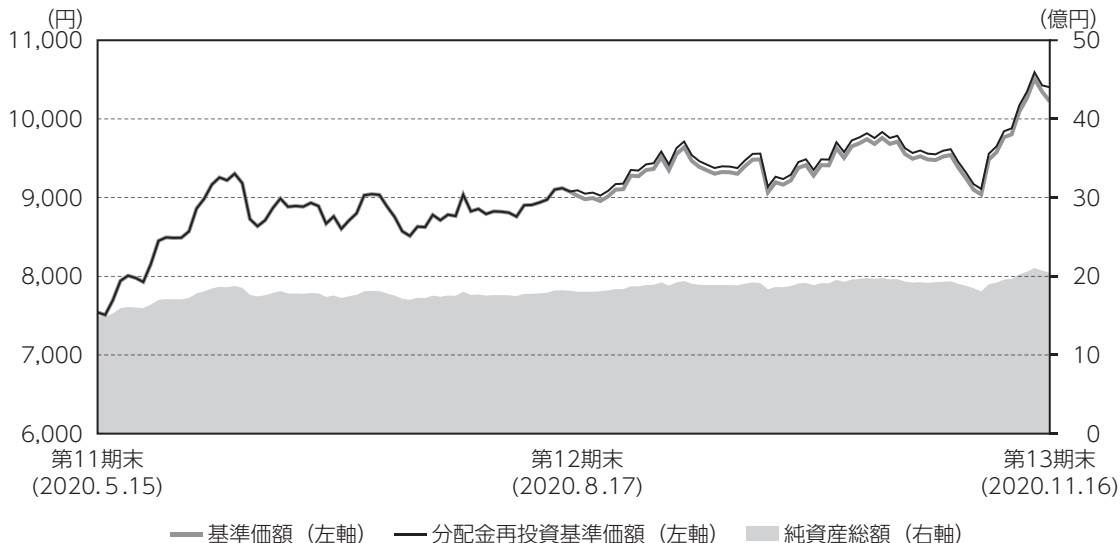
(注6) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第12期首： 7,541円

第13期末： 10,223円（既払分配金170円）

騰落率： 38.0%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は上昇しました。オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄が上昇したことがプラスに働きました。オーストラリアでの新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着きつつある中、ワクチン開発への期待感や中央銀行による金融緩和政策への期待感などから、当ファンドの主要投資対象であるリートやインフラ関連銘柄は上昇しました。また、鉄鉱石価格の上昇や中国の景気改善への期待感などから投資家のリスク選好が高まり、オーストラリア・ドルが対円で上昇（円安）したこともプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		S&PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		株 式 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
第12期	(期首)2020年5月15日	円 7,541	% -	8,258	% -	8,010	% -	% 21.0	% -	% 77.4
	5月末	8,488	12.6	9,322	12.9	9,285	15.9	18.6	-	79.0
	6月末	8,603	14.1	9,606	16.3	9,379	17.1	19.1	-	78.3
	7月末	8,821	17.0	10,197	23.5	9,644	20.4	18.6	-	79.2
	(期末)2020年8月17日	9,093	20.6	10,494	27.1	10,158	26.8	18.0	-	80.3
第13期	(期首)2020年8月17日	9,023	-	10,494	-	10,158	-	18.0	-	80.3
	8月末	9,365	3.8	10,574	0.8	10,513	3.5	18.2	-	78.9
	9月末	9,414	4.3	10,143	△ 3.3	10,461	3.0	17.3	-	78.6
	10月末	9,101	0.9	9,900	△ 5.7	10,014	△ 1.4	18.5	-	78.6
	(期末)2020年11月16日	10,323	14.4	11,054	5.3	11,555	13.8	19.9	-	79.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020.5.16~2020.11.16)

■オーストラリア・リアルアセット（※）市況

オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄は上昇しました。

オーストラリア・リアルアセット市況は、当作成期首から2020年6月前半にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大ペースが緩やかになり経済活動再開への期待感が高まったことや、米国の5月雇用統計が市場予想に反して改善したことなどから投資家のリスク選好が強まり、上昇しました。6月後半から7月にかけては、米国や中南米などで新型コロナウイルスの感染拡大が続いたことや、オーストラリア国内でも新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向となったことなどから、経済活動再開の遅れが懸念され、軟調な展開となりました。8月から10月前半にかけては、オーストラリアでの感染拡大が落ち着いた状態だったことやオーストラリアの長期金利が下落傾向となったこと、また財政刺激策への期待感やRBA（オーストラリア準備銀行）による追加緩和観測などから、上昇しました。10月後半は、欧州での感染再拡大、広範な行動規制の再開などから世界経済停滞の懸念が広がり、下落しました。その後当作成期末にかけては、米国の大統領選挙が大きな波乱なく終了したことや、米国大手製薬会社が新型コロナウイルスのワクチン開発において良好な治験結果を得られたと発表したことなどから、リートやインフラ関連銘柄は上昇しました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

■為替相場

オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

当作成期首から2020年6月前半にかけては、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待感や段階的な経済活動再開の発表などを受けて、投資家のリスク回避姿勢が後退し、オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。6月後半から8月にかけては、鉄鉱石価格の上昇や中国の景気改善への期待感などから、オーストラリア・ドルへの選好が強まり、対円で上昇しました。9月から10月にかけては、欧州での感染再拡大への懸念や米国大統領選挙を前にしたリスク調整の動きなどから、対円で下落（円高）しました。その後当作成期末にかけては、新型コロナウイルスのワクチン開発において良好な治験結果が得られたことなどから、投資家のリスク選好が強まり、オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

ポートフォリオについて

(2020.5.16~2020.11.16)

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

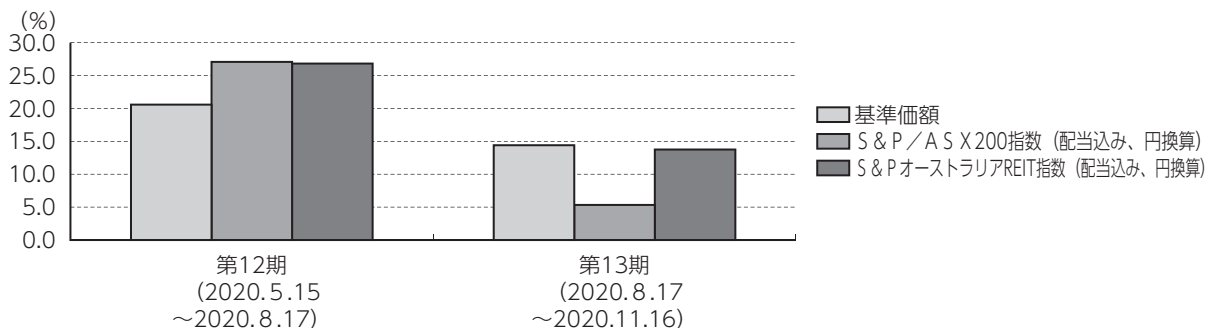
■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

オーストラリアだけでなく、世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、傘下に上場リートや非上場の不動産ファンドを持つ大手複合リートのCHARTER HALL GROUP（不動産）、ガス産出地と主要都市を結ぶガスパイプラインなどを運営するAPA GROUP（公益）、シドニーやメルボルンなどの大都市のビジネス街に、主にプレミアムグレードオフィスを保有・運営するDEXUS（不動産）などを高位に組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配金資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第12期	第13期
	2020年5月16日 ～2020年8月17日	2020年8月18日 ～2020年11月16日
当期分配金（税込み）（円）	70	100
対基準価額比率（％）	0.77	0.97
当期の収益（円）	65	86
当期の収益以外（円）	5	14
翌期繰越分配対象額（円）	794	786

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第12期	第13期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 77.22円	✓ 91.34円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	69.82	102.01
(d) 分配準備積立金	✓ 716.99	✓ 693.53
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	864.05	886.89
(f) 分配金	70.00	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	794.05	786.89

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

1万口当りの費用の明細

項 目	第12期～第13期 (2020.5.16～2020.11.16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	26円	0.287%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,106円です。
(投 信 会 社)	(24)	(0.267)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(0)	(0.005)	販売会社分は、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0.025	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0.007)	
(投資信託証券)	(2)	(0.018)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	7	0.078	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.019)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(5)	(0.056)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	35	0.389	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2020年5月16日から2020年11月16日まで)

決算期	第12期～第13期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	105,571	122,600	119,123	144,500

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2020年5月16日から2020年11月16日まで)

項目	第12期～第13期
	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	53,431千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	332,563千円
(c) 売買高比率(a)÷(b)	0.16

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第11期末		第13期末	
	□数	□数	□数	評価額
	千口	千口	千口	千円
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	1,520,378	1,506,827	2,041,148	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年11月16日現在

項目	第13期末	
	評価額	比率
	千円	%
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	2,041,148	98.6
コール・ローン等、その他	29,711	1.4
投資信託財産総額	2,070,860	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月16日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=76.30円、1ニュージーランド・ドル=71.95円です。

(注3) オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドにおいて、第13期末における外貨建純資産(2,052,277千円)の投資信託財産総額(2,053,466千円)に対する比率は、99.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年8月17日)、(2020年11月16日)現在

項目	第12期末	第13期末
(A) 資産	1,821,903,729円	2,070,860,166円
コール・ローン等	25,359,166	25,511,896
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド(評価額)	1,795,444,563	2,041,148,270
未収入金	1,100,000	4,200,000
(B) 負債	17,570,742	26,747,643
未払収益分配金	13,998,144	19,996,170
未払解約金	1,000,000	3,999,999
未払信託報酬	2,547,907	2,700,602
その他未払費用	24,691	50,872
(C) 純資産総額(A-B)	1,804,332,987	2,044,112,523
元本	1,999,734,925	1,999,617,067
次期繰越損益金	△ 195,401,938	44,495,456
(D) 受益権総口数	1,999,734,925口	1,999,617,067口
1万口当り基準価額(C/D)	9,023円	10,223円

*第11期末における元本額は1,980,218,402円、当作成期間(第12期～第13期)中における追加設定元本額は143,320,248円、同解約元本額は123,921,583円です。

*第13期末の計算口数当りの純資産額は10,223円です。

■損益の状況

第12期 自2020年5月16日 至2020年8月17日
 第13期 自2020年8月18日 至2020年11月16日

項目	第12期	第13期
(A) 配当等収益	△ 1,164円	△ 1,141円
受取利息	67	68
支払利息	△ 1,231	△ 1,209
(B) 有価証券売買損益	308,997,357	260,556,534
売買益	313,509,128	263,527,499
売買損	△ 4,511,771	△ 2,970,965
(C) 信託報酬等	△ 2,572,670	△ 2,726,840
(D) 当期繰越益金(A+B+C)	306,423,523	257,828,553
(E) 前期繰越損益金	△486,152,792	△185,507,655
(F) 追加信託差損益金	△ 1,674,525	△ 7,829,272
(配当等相当額)	(13,963,510)	(20,398,468)
(売買損益相当額)	(△ 15,638,035)	(△ 28,227,740)
(G) 合計(D+E+F)	△181,403,794	64,491,626
(H) 収益分配金	△ 13,998,144	△ 19,996,170
次期繰越損益金(G+H)	△195,401,938	44,495,456
追加信託差損益金	△ 1,674,525	△ 7,829,272
(配当等相当額)	(13,963,510)	(20,398,468)
(売買損益相当額)	(△ 15,638,035)	(△ 28,227,740)
分配準備積立金	144,825,452	136,950,645
繰越損益金	△338,552,865	△ 84,625,917

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項目	第12期	第13期
(a) 経費控除後の配当等収益	15,443,499円	18,266,233円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	13,963,510	20,398,468
(d) 分配準備積立金	143,380,097	138,680,582
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	172,787,106	177,345,283
(f) 分配金	13,998,144	19,996,170
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	158,788,962	157,349,113
(h) 受益権総口数	1,999,734,925口	1,999,617,067口

収益分配金のお知らせ		
	第12期	第13期
1万口当り分配金	70円	100円

<補足情報>

当ファンド（オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用））が投資対象としている「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の決算日（2020年8月3日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第13期の決算日（2020年11月16日）現在におけるオーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄

(1) 株 式

(2020年5月16日から2020年11月16日まで)

買				売				
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価	
AGL ENERGY LTD (オーストラリア)	19	18,590	978	AUSNET SERVICES (オーストラリア)	120	15,315	127	
INFRATIL LTD (ニュージーランド)	26	10,010	385	CONTACT ENERGY LTD (ニュージーランド)	17	9,513	559	

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2020年5月16日から2020年11月16日まで)

買				売				
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価	
CHARTER HALL GROUP (オーストラリア)	33	22,639	686	GOODMAN GROUP (オーストラリア)	33.5	42,388	1,265	
CHARTER HALL LONG WALE REIT (オーストラリア)	55	18,574	337	SYDNEY AIRPORT (オーストラリア)	44	19,790	449	
ARENA REIT (オーストラリア)	100	17,703	177	SYDNEY AIRPORT-RIGHTS (オーストラリア)	25.631	1,723	67	
INGENIA COMMUNITIES GROUP (オーストラリア)	39.448	12,073	306					

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2020年11月16日現在におけるオーストラリア・リアルアセット・マザーファンド（1,512,813千口）の内容です。

(1) 外国株式

銘柄	2020年11月16日現在			業種等
	株数	評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	千円	千円	
AUSNET SERVICES	2,104.72	420	32,118	公益事業
AGL ENERGY LTD	480	617	47,135	公益事業
ATLAS ARTERIA	1,137.28	756	57,705	資本財・サービス
オーストラリア・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	3,722 1,794	136,958 <6.7%>	
(ニュージーランド)	百株	千円	千円	
MERIDIAN ENERGY LTD	1,440	907	65,273	公益事業
MERCURY NZ LTD	290	174	12,519	公益事業
GENESIS ENERGY LTD	3,074.72	974	70,128	公益事業
TRUSTPOWER LTD	116	88	6,334	公益事業
INFRATIL LTD	260	139	10,008	公益事業
CONTACT ENERGY LTD	1,800	1,476	106,198	公益事業
ニュージーランド・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	6,980.72 3,759	270,462 <13.2%>	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	10,702.72 9銘柄	407,420 <19.9%>	

(注1) 邦貨換算金額は、2020年11月16日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	2020年11月16日現在			
	口数	評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	千口	千円	千円	
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	209.918	629	48,050	
CROMWELL PROPERTY GROUP	143.076	138	10,589	
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	120.517	374	28,597	
AVENTUS GROUP	148.767	379	28,944	
RURAL FUNDS GROUP	178.072	446	34,103	
WAYPOINT REIT	31.797	86	6,599	
CHARTER HALL LONG WALE REIT	84.997	414	31,648	
CENTURIA OFFICE REIT	176.445	400	30,560	
UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIEL/CDI	13	47	3,630	
TRANSURBAN GROUP	148.862	2,271	173,325	
SYDNEY AIRPORT	88	591	45,120	
APA GROUP	138.847	1,471	112,296	
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	204.245	418	31,946	
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	198.441	480	36,641	
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	258.919	939	71,712	
NATIONAL STORAGE REIT	135.164	249	19,027	
APN INDUSTRIA REIT	37.348	103	7,922	
SCENTRE GROUP	383	1,011	77,148	
ARENA REIT	388.899	1,069	81,600	
HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	66.46	210	16,024	
DEXUS	131	1,237	94,455	
GPT GROUP	150.7	703	53,697	
CHARTER HALL RETAIL REIT	29.697	113	8,633	
MIRVAC GROUP	479	1,245	95,024	
STOCKLAND	287.055	1,263	96,370	
GOODMAN GROUP	116.6	2,244	171,259	
VICINITY CENTRES	153	242	18,503	
CHARTER HALL GROUP	159	2,248	171,542	
INGENIA COMMUNITIES GROUP	39.834	185	14,132	
オーストラリア・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	4,700.66 29銘柄	21,220 <79.0%>	1,619,107
(ニュージーランド)	千口	千円	千円	
KIWI PROPERTY GROUP LTD	58.972	76	5,515	
GOODMAN PROPERTY TRUST	21	50	3,611	
ニュージーランド・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	79.972 2銘柄	126 <0.4%>	9,127
合計	口数、金額 銘柄数<比率>	4,780.632 31銘柄	1,628,234 <79.5%>	

(注1) 邦貨換算金額は、2020年11月16日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

運用報告書 第8期（決算日 2020年8月3日）

（作成対象期間 2020年2月4日～2020年8月3日）

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

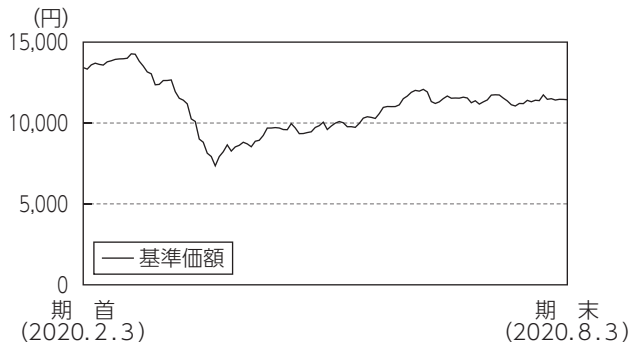
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場または店頭登録の投資信託証券 ロ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。） ハ. オーストラリアおよびニュージーランドの企業のDR
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算)		S & PオーストラリアREIT 指数 (配当込み、円換算)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 券 組 入 比 率
	円	%	(参考指数)	%	(参考指数)	%			
(期首)2020年2月3日	13,427	-	14,052	-	12,824	-	19.8	-	79.1
2月末	13,042	△ 2.9	13,262	△ 5.6	12,516	△ 2.4	18.4	-	79.3
3月末	8,524	△36.5	9,547	△32.1	7,020	△45.3	21.7	-	74.2
4月末	9,837	△26.7	10,502	△25.3	8,369	△34.7	21.2	-	76.7
5月末	11,014	△18.0	11,655	△17.1	9,705	△24.3	18.7	-	79.4
6月末	11,169	△16.8	12,010	△14.5	9,803	△23.6	19.2	-	78.7
7月末	11,459	△14.7	12,749	△ 9.3	10,081	△21.4	18.7	-	79.6
(期末)2020年8月3日	11,442	△14.8	12,539	△10.8	10,062	△21.5	18.8	-	79.5

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算) は、S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) S & PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算) は、S & PオーストラリアREIT指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & PオーストラリアREIT指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注6) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：13,427円 期末：11,442円 騰落率：△14.8%

【基準価額の主な変動要因】

オーストラリアのリートやインフラ (社会基盤) 関連銘柄が下落したことがマイナスに働き、基準価額は下落しました。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて、世界経済の減速懸念が広がり、2020年3月に大きく下落しました。為替については、オーストラリア・ドルが対円で上昇 (円安) したことがプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○オーストラリア・リアルアセット (※) 市況

オーストラリアのリートやインフラ (社会基盤) 関連銘柄は下落しました。

当作成期首から2020年2月後半にかけてのオーストラリア・リアルアセット市況は、各国中央銀行による金融緩和策が引き続き世

界経済を下支えするとの期待感などから、リートやインフラ銘柄は上昇しました。2月後半から3月後半にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて、世界経済の減速懸念が広がり、リートやインフラ銘柄は大きく下落しました。3月後半から6月前半にかけては、積極的な金融・財政政策の発表や長期的な資産価値と比較して割安なバリュエーションなどから、戻りを試す展開となりました。また、新型コロナウイルスの感染拡大ペースが緩やかになったことなどからオーストラリア政府は段階的な経済活動の再開を発表し、投資家の経済回復への期待感が高まったことなども、株価サポート要因となりました。6月後半から当作成期末にかけては、オーストラリア国内で新型コロナウイルスの感染者数が再度増加傾向となったことから、経済活動再開の遅れが懸念され、上値の重い展開となりました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

○為替相場

オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

当作成期首から2020年3月後半にかけては、中国から始まった新型コロナウイルスの感染が世界的な広がりを見せる中、投資家のリスク回避姿勢が強まり、オーストラリア・ドルは円に対して下落しました。3月後半から当作成期末にかけては、各国中央銀行による積極的な金融緩和策の発表や新型コロナウイルスの治療薬開発への期待感に加え、鉄鉱石価格の上昇や中国の景気改善への期待感などから投資家のリスク回避姿勢が後退し、オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また、長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

◆ポートフォリオについて

オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、オーストラリアだけでなく、世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、オーストラリアで主にガスパイプラインを運営・保有するAPA GROUP（公益）、傘下に上場リートや非上場の不動産ファンドを持つ大手複合リートのCHARTER HALL GROUP（不動産）、シドニーやメルボルンなどの大都市のビジネス街に、主にプレミアムグレードオフィスを保有・運営するDEXUS（不動産）、ショッピングモールやオフィスを保有する総合リートでマンションなどの都市型住宅の開発に強みを持つMIRVAC GROUP（不動産）などを高位に組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	3円
(株式)	(1)
(投資信託証券)	(3)
有価証券取引税	—
その他費用	8
(保管費用)	(3)
(その他)	(5)
合計	11

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 株 式

(2020年2月4日から2020年8月3日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	オーストラリア	百株	千オーストラリア・ドル	百株	千オーストラリア・ドル
		(95.16)	(16)	1,200	214
国	ニュージーランド	百株	千ニュージーランド・ドル	百株	千ニュージーランド・ドル
		(124.16)	(28)	711.66	281

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2020年2月4日から2020年8月3日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外	オーストラリア	千口	千オーストラリア・ドル	千口	千オーストラリア・ドル
		464.448	1,391	63	921
国	オーストラリア	(23.266)	(49)	(-)	(-)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

■主要な売買銘柄

(1) 株 式

(2020年2月4日から2020年8月3日まで)

当					期				
買		付			売		付		
銘柄	株数	金額	平均単価		銘柄	株数	金額	平均単価	
	千株	千円	円			千株	千円	円	
					AUSNET SERVICES (オーストラリア)	120	15,315	127	
					MERCURY NZ LTD (ニュージーランド)	30	10,465	348	
					GENESIS ENERGY LTD (ニュージーランド)	41.166	8,916	216	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2020年2月4日から2020年8月3日まで)

当					期				
買		付			売		付		
銘柄	口数	金額	平均単価		銘柄	口数	金額	平均単価	
	千口	千円	円			千口	千円	円	
CHARTER HALL GROUP (オーストラリア)	33	22,639	686		GOODMAN GROUP (オーストラリア)	45	47,859	1,063	
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR (オーストラリア)	90	16,472	183		TRANSURBAN GROUP (オーストラリア)	18	17,810	989	
ARENA REIT (オーストラリア)	100	13,295	132						
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA (オーストラリア)	80	12,378	154						
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR (オーストラリア)	100	10,535	105						
DEXUS (オーストラリア)	15	9,173	611						
CHARTER HALL LONG WALE REIT (オーストラリア)	25	7,423	296						
INGENIA COMMUNITIES GROUP (オーストラリア)	21.448	5,507	256						

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	百株	千円	千円	
AUSNET SERVICES	3,209.56	2,104.72	374	28,349	公益事業
AGL ENERGY LTD	290	290	481	36,471	公益事業
ATLAS ARTERIA	1,137.28	1,137.28	750	56,798	貴株・サービス
オーストラリア・ドル 通貨計	株数、金額 5銘柄	4,636.84 3銘柄	1,607 3銘柄	121,618 < 6.9% >	
(ニュージーランド)	百株	百株	千円	千円	
MERIDIAN ENERGY LTD	1,440	1,440	699	49,205	公益事業
MERCURY NZ LTD	590	290	135	9,522	公益事業
GENESIS ENERGY LTD	3,362.22	3,074.72	894	62,909	公益事業
TRUSTPOWER LTD	116	116	76	5,399	公益事業
CONTACT ENERGY LTD	1,970	1,970	1,150	80,890	公益事業
ニュージーランド・ドル 通貨計	株数、金額 5銘柄	7,478.22 5銘柄	6,890.72 5銘柄	207,926 < 11.9% >	
ファンド合計	株数、金額 8銘柄	12,115.06 8銘柄	10,422.72 8銘柄	329,545 < 18.8% >	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	期首		期末	
	口数	口数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(オーストラリア)	千口	千口	千円	千円
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	104.069	207.125	503	38,085
CROMWELL PROPERTY GROUP	143.076	143.076	126	9,581
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	117.208	117.208	385	29,179
AVENTUS GROUP	144.113	146.267	307	23,242
RURAL FUNDS GROUP	173.521	175.897	358	27,152
WAYPOINT REIT	31.797	31.797	80	6,087
CHARTER HALL LONG WALE REIT	28.341	53.341	246	18,688
CENTURIA OFFICE REIT	176.445	176.445	329	24,900
UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIEL/CDI	13	13	47	3,561
TRANSURBAN GROUP	166.862	148.862	2,055	155,561
SYDNEY AIRPORT	132	132	690	52,239
APA GROUP	138.847	138.847	1,527	115,572
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	190.486	197.551	446	33,784
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	114.071	194.071	419	31,720
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	168.919	258.919	831	62,891
NATIONAL STORAGE REIT	129.798	132.651	238	18,067
APN INDUSTRIA REIT	37.348	37.348	91	6,952
SCENTRE GROUP	383	383	781	59,122
ARENA REIT	221.314	324.066	729	55,174
HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	64.386	66.46	189	14,332
DEXUS	116	131	1,114	84,357
GPT GROUP	150.7	150.7	584	44,245

銘柄	期首		期末	
	口数	口数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
CHARTER HALL RETAIL REIT	千口	千口	千円	千円
MIRVAC GROUP	28.761	29.697	94	7,146
STOCKLAND	479	479	1,001	75,753
GOODMAN GROUP	287.055	287.055	915	69,291
VICINITY CENTRES	177.1	132.1	2,236	169,232
CHARTER HALL GROUP	153	153	199	15,108
INGENIA COMMUNITIES GROUP	126	159	1,672	126,571
オーストラリア・ドル 通貨計	口数、金額 28銘柄	4,196.217 29銘柄	4,620.931 29銘柄	18,307 < 79.1% >
(ニュージーランド)	千口	千口	千円	千円
KIWI PROPERTY GROUP LTD	58.972	58.972	63	4,436
GOODMAN PROPERTY TRUST	21	21	46	3,277
ニュージーランド・ドル 通貨計	口数、金額 2銘柄	79.972 2銘柄	79.972 2銘柄	109 < 0.4% >
合計	口数、金額 30銘柄	4,276.189 31銘柄	4,700.903 31銘柄	1,393,029 < 79.5% >

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年8月3日現在

項目	当期	
	評価額	比率
株式	千円 329,545	18.8%
投資信託証券	1,393,029	79.5%
コール・ローン等、その他	29,101	1.7%
投資信託財産総額	1,751,675	100.0%

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月3日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=75.67円、1ニュージーランド・ドル=70.31円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(1,744,853千円)の投資信託財産総額(1,751,675千円)に対する比率は、99.6%です。

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年8月3日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,751,675,780円
コール・ローン等	17,324,578
株式(評価額)	329,545,458
投資信託証券(評価額)	1,393,029,108
未収配当金	11,776,636
(B) 負債	-
(C) 純資産総額(A - B)	1,751,675,780
元本	1,530,875,198
次期繰越損益金	220,800,582
(D) 受益権総口数	1,530,875,198口
1万口当り基準価額(C / D)	11,442円

* 期首における元本額は1,543,086,140円、当作成期間中における追加設定元本額は105,295,466円、同解約元本額は117,506,408円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、オーストラリア・リアルアセット・ファンド(適格機関投資家専用)1,528,249,896円、オーストラリア・リアルアセット・ファンド2,625,302円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,442円です。

■損益の状況

当期 自2020年2月4日 至2020年8月3日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	35,397,638円
受取配当金	35,394,827
受取利息	6,482
支払利息	△ 3,671
(B) 有価証券売買損益	△329,690,994
売買益	104,407,018
売買損	△434,098,012
(C) その他費用	△ 1,200,244
(D) 当期損益金(A + B + C)	△295,493,600
(E) 前期繰越損益金	528,823,240
(F) 解約差損益金	△ 21,803,592
(G) 追加信託差損益金	9,274,534
(H) 合計(D + E + F + G)	220,800,582
次期繰越損益金(H)	220,800,582

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ダイワ・マネー ポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)

運用報告書 (全体版) 第4期

(決算日 2020年12月9日)

(作成対象期間 2019年12月10日~2020年12月9日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ、ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券 ロ、円建ての債券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、配当等収益等を中心に分配します。ただし、配当等収益等の額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	債券先物 比率	純資産 総額
	(分配落) 円	税金 込み 円	騰落 率 %			
1期末（2017年12月11日）	9,991	0	△0.1	—	—	百万円 0
2期末（2018年12月10日）	9,963	0	△0.3	—	—	1
3期末（2019年12月9日）	9,952	0	△0.1	—	—	1
4期末（2020年12月9日）	9,943	0	△0.1	—	—	1

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

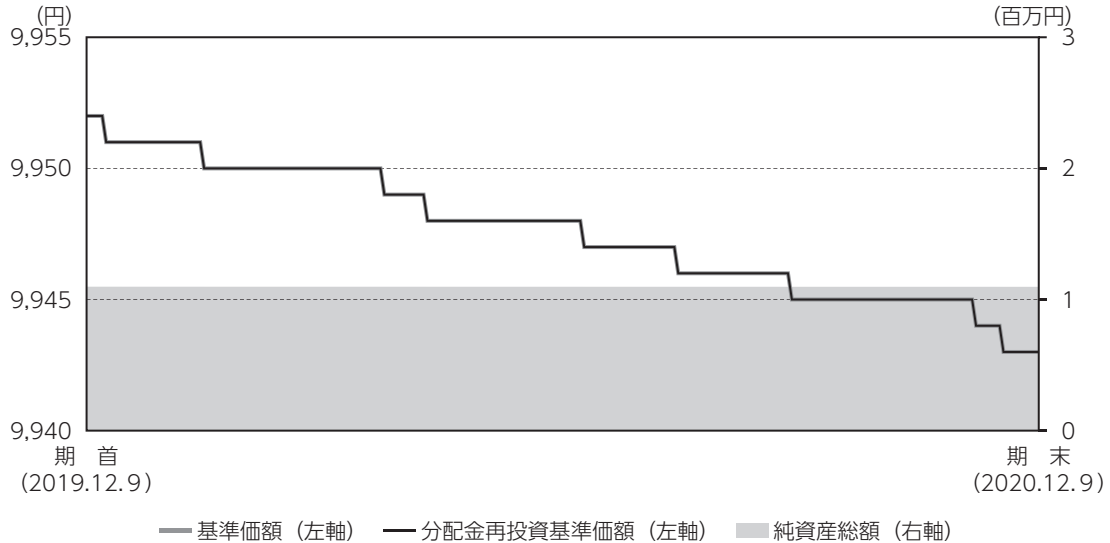
(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注5) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,952円

期末：9,943円（分配金0円）

騰落率：△0.1%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券を通じて投資したコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	債 券 先 物 率
	騰 落 率	率		
(期首) 2019年12月9日	円 9,952	% -	% -	% -
12月末	9,951	△0.0	-	-
2020年 1 月末	9,950	△0.0	-	-
2 月末	9,950	△0.0	-	-
3 月末	9,950	△0.0	-	-
4 月末	9,948	△0.0	-	-
5 月末	9,948	△0.0	-	-
6 月末	9,947	△0.1	-	-
7 月末	9,946	△0.1	-	-
8 月末	9,946	△0.1	-	-
9 月末	9,945	△0.1	-	-
10月末	9,945	△0.1	-	-
11月末	9,943	△0.1	-	-
(期末) 2020年12月9日	9,943	△0.1	-	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019.12.10～2020.12.9)

■国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019.12.10～2020.12.9)

■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、分配対象額が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年12月10日 ～2020年12月9日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	—

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

上記の運用方針により、マイナス利回りの短期の国債やコール・ローン等にも投資する場合があります。今後も現在の低金利環境が継続した場合は、ファンド全体の損益がマイナスとなり、基準価額が下落することが予想されます。投資家のみなさまにおかれましては、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019.12.10~2020.12.9)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	一円	—%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,948円です。
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	4	0.035	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(3)	(0.033)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	4	0.035	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	□ 数	□ 数	□ 数
	千口	千口	千口	千口
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	1,089	1,089	1,092	1,092

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	1,092	99.6
コール・ローン等、その他	4	0.4
投資信託財産総額	1,097	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,097,037円
コール・ローン等	4,783
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド(評価額)	1,092,254
(B) 負債	183
その他未払費用	183
(C) 純資産総額(A - B)	1,096,854
元本	1,103,110
次期繰越損益金	△ 6,256
(D) 受益権総口数	1,103,110口
1万口当り基準価額(C/D)	9,943円

* 期首における元本額は1,103,110円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,943円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は6,256円です。

■損益の状況

当期 自2019年12月10日 至2020年12月9日

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	△ 544円
売買損	△ 544
(B) 信託報酬等	△ 366
(C) 当期損益金(A + B)	△ 910
(D) 前期繰越損益金	△2,236
(E) 追加信託差損益金	△3,110
(売買損益相当額)	(△3,110)
(F) 合計(C + D + E)	△6,256
次期繰越損益金(F)	△6,256
追加信託差損益金	△3,110
(売買損益相当額)	(△3,110)
繰越損益金	△3,146

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	0
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	0
(h) 受益権総口数	1,103,110口

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第12期 (決算日 2020年12月9日)

(作成対象期間 2019年12月10日～2020年12月9日)

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

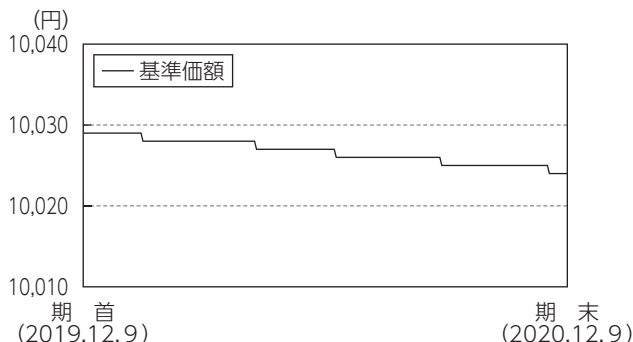
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
	円	%	%
(期首)2019年12月9日	10,029	-	-
12月末	10,029	0.0	-
2020年1月末	10,028	△0.0	-
2月末	10,028	△0.0	-
3月末	10,028	△0.0	-
4月末	10,027	△0.0	-
5月末	10,027	△0.0	-
6月末	10,026	△0.0	-
7月末	10,026	△0.0	-
8月末	10,026	△0.0	-
9月末	10,025	△0.0	-
10月末	10,025	△0.0	-
11月末	10,024	△0.0	-
(期末)2020年12月9日	10,024	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,029円 期末：10,024円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	73,499,280	100.0
投資信託財産総額	73,499,280	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	73,499,280,005円
コール・ローン等	73,499,280,005
(B) 負債	-
(C) 純資産総額(A - B)	73,499,280,005
元本	73,320,433,569
次期繰越損益金	178,846,436
(D) 受益権総口数	73,320,433,569口
1万口当り基準価額(C/D)	10,024円

*期首における元本額は38,285,006,118円、当作成期間中における追加設定元本額は92,065,519,457円、同解約元本額は57,030,092,006円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米ドル・プルファンド（適格機関投資家専用）7,165,012,965円、ダイワ米ドル・ベアファンド（適格機関投資家専用）12,332,468,365円、ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）1,089,639円、ダイワJリートベア・ファンド（適格機関投資家専用）1,215,141,541円、ダイワ/パリュウ・パートナーズ チャイナ・ヘルスケア・フォーカス9,976円、通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、オール・マーケット・インカム戦略（資産成長重視コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定額分配コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（予想分配金提示型コース）9,963円、NYダウ・トリプル・レバレッジ209,466,367円、世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり/年1回決算型）998円、世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり/年2回決算型）998円、FANG+プルベア・マネーポートフォリオ992,420円、AHLターゲットリスク・ライト戦略ファンド（適格機関投資家専用）6,417,784,873円、ダイワユーロベア・ファンド2（2倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）9,837,126,024円、ダイワユーロベア・ファンド（2倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）29,412,815,332円、ダイワ米ドルベア・ファンド（2倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）1,582,648,295円、ダイワ/ロジャーズ国際コモディティTM・ファンド2,417,017円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）998円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）998円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）アジア通貨・コース（毎月分配型）998円、ダイワTOPIXベア・ファンド（適格機関投資家専用）5,141,916,506円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型）9,949円、ダイワ米国内債7-10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - USTライアンブル - 997,374円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド - 予想分配金提示型 - 173,802円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,024円です。

■損益の状況

当期 自2019年12月10日 至2020年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 28,774,653円
受取利息	1,464,675
支払利息	△ 30,239,328
(B) その他費用	△ 1,598,733
(C) 当期損益金(A + B)	△ 30,373,386
(D) 前期繰越損益金	112,547,273
(E) 解約差損益金	△154,205,994
(F) 追加信託差損益金	250,878,543
(G) 合計(C + D + E + F)	178,846,436
次期繰越損益金(G)	178,846,436

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。